**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　朝鮮戦争によって分断された朝鮮半島と在日コリアン。先人たちが夢にまで見た「統一」はいつ来るのでしょうか？　最近の国家情勢で考えると問題があまりにも大きく見えて、何から手を付けて良いのか、わからなくなってしまうことはありませんか。しかし、皆さんが「心の壁」を乗り越えた小さな体験が、何かしら在日同胞の和合に役に立った事はなかったでしょうか？

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、この度、皆様の「心の壁」を乗り越えた経験を、同世代や後に続いていく世代の力とするために、創設20周年記念企画としてこの賞を創設いたしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門、会員及び一般部門　エッセイ募集 |
| 募集テーマ | 「私の心の壁を越えて始まった平和統一の経験」  ・自分の置かれている環境でぶつかった「心の壁」、なぜそれが「壁」であったか、どのようにして乗り越えたか、そのきっかけや周りからの言葉、勉強になったと思う自分の経験、そしてそれが在日同胞の和合、朝鮮半島の平和統一にどのように発展していく可能性があるかをスピーチ、または記述。 |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | 青年スピーチ部門：2024年６月16日（日）まで地方予選  会員及び一般部門　エッセイ募集：  2024年４月１日（月）～2024年６月17日（月） |
| スピーチ  原稿規程 | 【青年スピーチ部門】　５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。  ※パワーポイント使用可。  【会員及び一般部門　エッセイ募集】800字以上3000字以内、１人１点。  ※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。 郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2024年6月下旬　ホームページにて公開  入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。  青年スピーチ部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。その交通費は本部負担。 |

**題名：　平和は心温まる関係から**

**お名前：　　　西垣　陽子**

(下記より本文をご記入ください)

私は日本生まれの日本人です。

今回、このエッセイを書くことになったのは、『私から始まる平和統一』という言葉に心動かされたからです。

また 、私がいつも 子育てで お姉さんのように お世話になっている方が 平和統一連合の 方であったからです。

私は 、20代の頃から 韓国に 旅行に行くことが何度もありました。その度に 空港では 韓国の方に よく 道を聞かれました。

それは私の顔が 韓国人に見えるということで 話しかけられていたようです。

それで いつも『私は日本人でハングルが分かりません。』 という ハングルを覚えてお話ししていま した。道を教えてあげられるほどの語学力はなかったのでそうお答えしていたのですが、今思えば、もう少し勉強しておけばよかったなと思います。

また友達が 韓国に留学することになり ハングルを学んでいたり、就職したり、私自身も 韓国ドラマにはまって 100話以上の物語 を1日2時間以上かけて10日で あっという間に見てしまったりと、少しずつ韓国の文化に触れる機会がありました。

30代になると、 地域のイベントを通して 在日 コリアンの方々の歴史や歩みを知ることも増えていき、

同時に、子供が幼稚園から小学生に上がるくらいに とても仲の良いお友達ができて 、そのお母さんが 在日コリアンの方だったので、今までの 色々な縁を感じていたこともあり、 とても嬉しく仲良くなりました。

私よりも 何歳か上のその方は 、自分の子供と同じぐらい 私の子供に 関心や 愛情を注いでくれます。

いつも娘の話を『 うんうん 、そうだよね。』と言って聞いてくれて 子供はお友達も好きですが、その方が大好きで、○○ちゃんのお母さんではなく 下のお名前で呼んでいるくらいです。

普通 ママ友と呼ばれる方たちとは、 子供がお互い好きで 出会っているので、 子供同士が遊ばなくなると それ以上の関係にはなかなか なりにくいことが多くあります。

でもその方は、子ども同士が仲が良いからだけではなくて、私自身のことも 妹のように思って接して心配してくれるのです。

私は、家族の中では長女で育ってきたので、 年下の子たち のお世話をするのは好きですが、 お姉さんがいなかったので お姉さんのように いつも心配してくれて 私のことも聞いてくれる そういう 方がいてくれることを本当に嬉しく思います 。

また、その方を通して出会う 在日コリアンのお母さん達・ お父さん達はとても優しく 、そして とにかく座っていればどんどん 食べ物を持ってきてくれたり、 日本人とは少し違う 遠慮のない関係にとても心が温かくなる時が多くありました。

私が日本人として生まれてきたことは変えられませんし、在日コリアンの方々も、他の国の方々もそうですが、親として子どもを育てる立場、姉妹のように接することのできる関係、お互いがお互いを思いやる心を持ってゆけば、そこには、家族のような関係を築ける希望があると思います。

家族のような関係は、決して切ることができませんし、心の中から追い出してしまうことも出来ないと思うからです。娘も『いっしょにやろう・いっしょに行こう』とよく言います。

このような関係を築くことが出来たことで、私の心は本当に明るく楽しくなりました。

『私から始まる平和統一』は、お互いが家族のような雰囲気や関係性を持てるように関心を注ぎ、嬉しい時も楽しい時も、大変な時も『いっしょにやる・いっしょに行く』ことで、少しずつでも実現してゆきたいと思います。